



<お知らせコーナー>

「まちづくりシンポジウム 2008」を開催

主催：茨城県・笠間市・茨城県都市計画協会

「まちづくりシンポジウム」は、まちづくりに功績のあった団体・個人に対する表彰を行うと共に、まちづくりや景観に関する講演やパネルディスカッションの議論の場への参加を通じて、県民のまちづくりに対する意識の高揚を図るとともに、まちづくりへの積極的な参加促進を目的に、昭和61年度から毎年開催しております。

今年度は、「地域資源を活かしたまちづくり」をテーマに、11月15日（土）に笠間市立笠間公民館において開催しました。

多くの皆様にご参加いただきました。



会場



うるおいのあるまちづくり顕彰事業表彰式

【プログラム】

平成20年度

茨城県うるおいのある

まちづくり顕彰事業表彰式

県民の皆さまのまちづくりに対する意識の高揚を図り、各地域において実施されているまちづくり活動をさらに盛り上げることと、県が推進するまちづくりに対するご理解とご協力を得ることを目的として、うるおいのある景観や優れた住環境の整備、各種のまちづくり活動の実践など、まちづくりに功績のあった方々を毎年表彰しているものです。

平成20年度は、まちづくりグリーンリボン賞で5件、まちづくりグッドサイン賞で1件が表彰されました。

<まちづくりグリーンリボン賞>

7000歩で歩ける「古河七福神めぐり」の実施

受賞者：古河市観光協会

常総市まちなか展覧会の実施

受賞者：常総市まちなか展覧会実行委員会

那珂市立図書館の建設

受賞者：那珂市

あたご四季の会の活動

受賞者：あたご四季の会

「道の市」笠間ハンドメイドフェア

in 弁天町の開催

受賞者：「道の市」笠間ハンドメイドフェア

in 弁天町実行委員会

<まちづくりグッドサイン賞>

行方市水辺サイクルネットワークの案内板

受賞者：行方市



基調講演

「笠間のまちづくりに期待すること」

講師：山形 耕一 氏

〔茨城大学名誉教授（前副学長）〕

山形先生からは、笠間の経済活動の基盤条件や笠間の持つ資源など笠間の現状について、また、先生が携わった「道の駅」構想などをおりまぜながら、街づくりのイメージ、笠間の持ちたい都市イメージについて、アドバイスをいただきました。

聴講者からは、非常にわかりやすく、ためになる内容であったと多くの方々から感想をいただきました。

〔講演内容〕

- (1) 都市計画と街づくり
- (2) 街づくりの目標
- (3) 笠間における経済活動の基盤条件
- (4) 笠間の持つ資源の評価
- (5) 「道の駅」構想で考えたこと
- (6) 「道の駅」構想に籠められたコンセプト
- (7) 笠間を訪れる人々（客層）
- (8) 一步を乗り越える仕掛け
- (9) 街内の各資源の協働
- (10) 笠間の街づくりのイメージ
- (11) 物的なまちづくりにどう反映するか
- (12) 産業化
- (13) 笠間の持ちたい都市イメージ



基調講演

ファン倶楽部の実質化

ファン倶楽部の活動を実質化していくことが非常に大事。ファン倶楽部が市外、県外の人々を笠間に溶け込ませ、仲間さらには自分も笠間の住民だという気持ちで笠間の人々と共に活動していく仕掛けとして、本当の意味でのつなぐ役割を果たしていければ笠間のまちづくりは活性化する。

パネルディスカッション

「地域資源を活かしたまちづくりについて」

・コーディネータ 山形 耕一 氏

〔茨城大学名誉教授（前副学長）〕

・パネリスト

岡部 登志子 氏

（（有）きらら館 代表取締役）

田守 勝 氏

（いなだストーンエキシビジョン実行委員会 委員長）

萬木 康博 氏

（笠間日動美術館 副館長）

飯村 信康 氏

（TMO かさま「中心市街地活性化プロジェクトリーダー」）

大嶋 元則 氏

（道の市実行委員会 委員長）

青木 繁 氏

（笠間市産業経済部長）

笠間市における課題や問題点等を取り上げながら、地域資源を活かして今後どのようなまちづくりに取り組んでいくべきか様々な角度からご意見をいただきました。



パネルディスカッション

おわりに

本県は、長大な海岸線や霞ヶ浦、筑波山など変化に富んだ美しい自然と、鹿島神宮や笠間稲荷をはじめとする様々な歴史的・文化的遺産など優れた地域資源を有しています。こうした多様な地域資源は、わたしたち県民の共有の財産であり、魅力的な地域づくりを行うためにはこれを守り、つくり、育て、さらに美しいものとして次世代へ継承していく必要があります。

今回のシンポジウムでは、地域資源を活用したまちづくり、個性的で魅力あるまちをどのようにつくっていくかを皆さんと一緒に考えてみました。

参加して頂きました皆様そしてこのシンポジウムに協力頂きました皆様ありがとうございました。

今後も県内各地をまわりながら、社会情勢や地域のニーズに応じたテーマを設定し、シンポジウムを開催していきたいと考えております。

（都市計画協会事務局）